

SESSION 2023

**CAPES
CONCOURS EXTERNE**

SECTION : LANGUES VIVANTES ÉTRANGÈRES

JAPONAIS

**ÉPREUVE ÉCRITE DISCIPLINAIRE
COMPOSITION EN JAPONAIS - THÈME ET/OU VERSION**

Durée : 6 heures

L'usage de deux dictionnaires unilingues en langue japonaise (un dictionnaire de langue et/ou un dictionnaire de kanji) est autorisé.

L'usage de tout ouvrage de référence, de tout autre dictionnaire et de tout matériel informatique ou électronique (dictionnaire électronique, ordinateur, téléphone, calculatrice ou autre) est rigoureusement interdit.

Il appartient au candidat de vérifier qu'il a reçu un sujet complet et correspondant à l'épreuve à laquelle il se présente.

Si vous repérez ce qui vous semble être une erreur d'énoncé, vous devez le signaler très lisiblement sur votre copie, en proposer la correction et poursuivre l'épreuve en conséquence. De même, si cela vous conduit à formuler une ou plusieurs hypothèses, vous devez la (ou les) mentionner explicitement.

NB : Conformément au principe d'anonymat, votre copie ne doit comporter aucun signe distinctif, tel que nom, signature, origine, etc. Si le travail qui vous est demandé consiste notamment en la rédaction d'un projet ou d'une note, vous devrez impérativement vous abstenir de la signer ou de l'identifier. Le fait de rendre une copie blanche est éliminatoire.

Tournez la page S.V.P.

A

INFORMATION AUX CANDIDATS

Vous trouverez ci-après les codes nécessaires vous permettant de compléter les rubriques figurant en en-tête de votre copie.

Ces codes doivent être reportés sur chacune des copies que vous remettrez.

► **Concours externe du CAPES de l'enseignement public :**

Concours	Section/option	Epreuve	Matière
E B E	0 4 3 0 E	1 0 1	9 3 1 1

L'épreuve comporte deux parties que le candidat abordera selon l'ordre de son choix :

- Une composition en japonais
- Une traduction (version)

COMPOSITION EN JAPONAIS

「市・町・村」 (Le village, le quartier, la ville) のテーマについて、それぞれの次の4つの資料の比較分析に基づいて問題提起をし、構築された論文を日本語で書いてください。

資料 1 :

- ぶうと云って汽船がとまると、^{はしけ} 舢が^{はな} 岸を離れて、^こ 漕ぎ寄せて来た。船頭は^ま 真っ^{ぼだか} 裸に赤ふんどしをしめている。^{やぼん} 野蛮な所だ。尤もこの熱さでは着物はきられまい。日が強いので水がやに光る。^{みつ} 見詰めていても眼がくらむ。事務員に聞いてみるとおれは^こ 此所へ降りるのだそうさ。見るところでは大森位な漁村だ。人を馬鹿にしていらあ、
- 5 こんな所に^{がまん} 我慢が出来るものかと思ったが仕方がない。^{いせい} 威勢よく一番に飛び^こ 込んだ。つづいて五六人は乗ったろう。^{ほか} 外に大きな箱を四つばかり積み込んで赤ふんは岸へ漕ぎ^{もど} 戻して来た。^{おか} 陸へ着いた時も、いの一番に飛び上がって、いきなり、^{いそ} 磯に立っていた鼻たれ小僧をつらまえて中学校はどこだと聞いた。小僧は^{ぼん} 茫やりして、知らんがの、と云った。気の利かぬ田舎^{き いなか} ものだ。猫の^{ひたい} 額程な町内の癖に、中学校のありかも知らぬ
- 10 奴があるものか。ところへ^{みょう} 妙な筒^{つつ} っぽうを着た男がきて、こっちへ来いと云うから、尾いて行ったら、港屋とか云う宿屋へ連れて来た。やな女が声を揃えてお上がりなさいと云うので、上がるのがいやになった。^{かどぐち} 門口へ立ったなり中学校を教えろと云ったら、中学校はこれから汽車で二里ばかり行かなくっちゃいけないと聞いて、^{なお} 猶上がるのがいやになった。おれは、筒っぽうを着た男から、おれの^{かぼん} 革鞆を二つ引きたくって、
- 15 のそのそあるき出した。宿屋のものは変な顔をしていた。

停車場はすぐ知れた。^{きっぷ} 切符も訳なく買った。乗り込んで見るとマッチ箱の様な汽車だ。ごろごろと五分ばかり動いたと思ったら、もう降りなければならない。道理で切符が安いと思った。たった三銭である。それから車を^{やと} 備って、中学校へ来たら、もう

20 放課後で誰も居ない。宿直は一寸用達に出たと小使が教えた。随分気楽な宿直がいるものだ。校長でも尋ねようかと思ったが、草臥れたから、車に乗って宿屋へ連れて行くと車夫に云い付けた。車夫は威勢よく山城屋と云ううちへ横付にした。山城屋とは質屋の勘太郎の屋号と同じだから一寸面白く思った。

何だか二階の櫓子段の下の暗い部屋へ案内した。熱くって居られやしない。こんな部屋はいやだと云ったら生憎みんな塞がっておりますからと云いながら革靴を抛り出したまま出て行った。仕方がないから部屋の中へ這入って汗をかいて我慢していた。やがて湯に入れと云うから、ざぶりと飛び込んで、すぐ上がった。帰りがけに覗いて見ると涼しそうな部屋が沢山空いている。失敬な奴だ。嘘をつきやあがった。それから下女が膳を持って来た。部屋は熱だったが、飯は下宿のよりも大分旨かった。給仕をしながら下女がどちらから御出になりましたと聞くから、東京から来たと答えた。すると東京はよい所で御座いましょうと云ったから当たり前だと答えてやった。膳を下げた下女が台所へ行った時分、大きな笑い声が聞えた。くだらないから、すぐ寝たが、中々寝られない。熱いばかりではない。騒々しい。下宿の五倍位やかましい。うとうとしたら清の夢を見た。清が越後の笹飴を笹ぐるみ、むしゃむしゃ食っている。笹は毒だから、よしたらよかろうと云うと、いえこの笹が御薬で御座いますと云って旨そうに食っている。おれがあきれ返って大きな口を開いてハハハハと笑ったら眼が覚めた。下女が雨戸を明けている。相変わらず空の底が突き抜けた様な天気だ。

夏目漱石「坊っちゃん」1906年（新潮文庫、2012年）

資料2：

廃校活用と過疎地域の再生の可能性 様々な山村地域の調査を通して

令和2年2月26日

ウスビ・サコ

京都精華大学学長

日本全国に見られる少子化と高齢化の現象に伴い、人口が著しく減少し、中小規模の地方都市や農村地域の過疎化が深刻な問題になっています。過疎化対策として、これらの地域への移住促進と地域経済の活性化が図られています。私は京都のコミュニティの変容と学校の統廃合を調査する中でこういった地域課題に関心を持ち始めてい

5 ました。それから縁あって、^{みなみやましる}南山城村の研究チームに加わり、高尾地区の旧高尾小学校の再生と地域拠点づくりに関わることができました。旧高尾小学校再生の過程で、日本の農村や山間地域が抱える特有の課題に触れた経験を通して、日本の山間地域がどのような状態にあるのか、また今後、これらの地域がどのような可能性を秘めているのかを探りたいと思います。

10 南山城村は1955年に高山村と^{おおかわら}大河原村の合併により発足した村です。奈良県、三重県、滋賀県と隣接する京都府下唯一の村であり、2012年現在の人口は3000人前後で推移しています。

人口減少が進む南山城村の中でも高尾地区の人口は最も減り、村内を歩く村民の姿をほとんど見かけません。廃校となった旧高尾小学校は竣工されてから20年しか経
15 っておらず、鉄筋コンクリート造りの校舎としては利用可能な状態ですが、新たな利用方法を見出す事が出来ないまま長い間に放置されていました。そのような状況にあった旧高尾小学校ですが、2007年から学校統廃合研究会や民間団体、アーティストなどの働きかけにより校舎を活用した地域活性化の動きが始まりました。

旧高尾小学校の活用には、住民組織との話し合いを経て、校内の旧図書館を図書ス
20 ペースと多目的スペースに再整備し、「色々茶論（いろいろサロン）」が誕生しました。しかし、図書館の開閉曜日は当番をする住民の都合で決まり、年間を通して30人未満しか訪れていないのが現状です。また、活性化に関わる町長や住民による映画上映会、音楽会、高尾フェスなどが開催されましたが、住民の少子高齢化によって、
25 地元の参加者が非常に少ない上に婦人会や青年団の会合に使われている記録もなく、地域の拠点として再生できたとは言い難い状況です。

少子高齢化が進む山間地域で、学校統廃合を機に住民主導で校舎の建て替えが行われ
た例もあります。三重県にある^{みはま}御浜町、^{おろし}尾呂志学園学校区はその一例です。尾呂志
学園は、2003年に尾呂志小学校と尾呂志中学校が統合し開校しました。2015
30 年度の児童・生徒数は27名で、非常に小規模な学校です。校舎には、地産地消の木材をふんだんに使った内装木質化が見られ、旧来のパターン化された学校舎とは違い、児童・生徒数や地域に合わせた学校規模です。しかし、地域住民全体のコミュニティ・スクールに対する理解が浅いまま、学校施設や運営制度の策定がされ、地域住民自身
自身がその変化についていけず、「地域に開かれた学校」という目標と実態に乖離が
きたされています。

35 地域利用を計画に取入れた尾呂志学園小中学校校区では、住民の学校利用が非常に少なく、一部の図書スペースやコミュニティルームで、地域行事、会合が行われることがあるくらいです。現在に至るまで、学校を日常的に使っていなかったにも関わらず、ハード面で校舎が変わったからといって、地域住民の日常生活が変わるわけではなく、「学校＝教育の場」というイメージは、深く根づいたままです。尾呂志学園学
40 校区の場合は、地域の拠点として学校を設置しましたが、地域住民全体と学校がより密になるという課題が残されています。

日本の山間地域では学校の再生や活用と並行して、移住促進の施策（Uターン・I
ターン・Jターン）を検討している自治体、地域組織が増えています。移住の仕組み、
45 移住者と地域の活性化に関する新たなあり方が議論されています。特に、移住者の一部が外国出身者であることや、移住者による地域のポテンシャルの活用とイノベーションの取り組みが、山間地域の新しい可能性を指し示しています。

今後、移住の仕組みや移住者の地域活性化への役割、移住者と既存コミュニティとの共存方法を整理する必要があります。また、地域を支える新しいソーシャルビジネスの展開を把握し、内発的発展と移住促進との関連性を今後探っていくことが重要で
50 す。

出典：https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/local/page23_003034.htmlより抜粋一部改変

資料3：令和3年11月4日 全国過疎問題シンポジウム2021 in こうち

大会概要

過疎地域においては、依然として人口が減少し、小規模で高齢者比率の高い集落が増えることなどにより、産業の後継者や地域活動の担い手の不足、生活基盤の弱体化など、多くの課題を抱えています。

5 一方で、過疎地域は、四季折々の豊かな自然や人々の営みが美しい風景を織り成し、水や食料の供給源となり、多様な生態系を維持し、国土の保全や水源の涵養、農地や山林による防災・減災機能を有し、国民の憩いの場としての機能も有しています。

それぞれの過疎地域において、人々は支え合い、知恵と工夫を凝らしながら生活を営んでおり、その暮らしは都市部にはない価値として見直されつつあり、「地方への
10 新しいひとの流れ」も生まれてきています。

こうしたなか、過疎地域におけるさまざまな取組について、更なる議論を深めるとともに、全国の優れた取組にふれ、人と人とのつながりを通じて、今後の過疎地域の持続的な発展につなげていくため「全国過疎問題シンポジウム2021 in こうち」を開催します。

出典：<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/070101/2021091300204.html>

資料4：地域おこし協力隊とは？



出典：<https://www.town-kiso.com/chousei/machidukuri/100247/100132/>

TRADUCTION

Composition en japonais の資料 2 を、題名から 4 1 行目までフランス語に翻訳してください。